

# 甲府市役所新庁舎の 塗装工事を共同受注

## ACTIVE KUMIAI

### 山梨県塗装協同組合



南東側から見る甲府市役所新庁舎

甲府市役所新庁舎は、平成23年5月末に着工し、約2年間の工事期間を経て、去る3月に完成し、5月7日より業務開始となった。

山梨県塗装協同組合(高野芳造理事長)は、新庁舎の天井、廊下や階段の壁等の塗装工事及び市議会議場の天井や壁材等の塗装工事を共同受注した。組合では、官公需適格組合証明

を取得して7年目となり、官公庁への指名参加とともに理事長を中心とした各署への要請・PR活動が実を結び、組合としては久しぶりの一定規模の公共工事受注という成果につながった。

去る4月20日に開催された内覧会には、受注工事の成果を確認するため組合員全員が参加した。

高野理事長は、「甲府市のシンボルである庁舎の工事に関わることができたことは、組合、組合員にとって非常に名誉なことであった。全体の工期の遅れもあり、12月初旬から3月下旬という厳しい工期の中、完工できた要因としては、全組合員の協力体制のもと組合で共同受注するというメリットを十分に発揮できたことに尽きる。特に、議場は一般の目に触れる機会が多い場所であり、木材を多く使った仕様の、技術性の高い施工にも、組合員7社の高い技術を結集して仕上げる事が出来た。」と満げに語った。

甲府市役所は環境配慮型庁舎をうたい、太陽光パネル、地中熱利用、自然換気、屋上緑化を取り入れているが、組合でも遮熱・断熱塗料を使った外装や屋根、窓の塗装工事やアスベスト除去工事など環境配慮に取り組んでいる。一昨年全社でISOを取得した組合は、今後も組合員の一致協力の下、一層の技術向上と受注活動に邁進していく。



甲府市役所10階市議会議場